

くさ か はちまんじんじゃ
草香八幡神社つか
遣いだんじり

所在地：淡路市 草香



「つかい檀尻」淡路市 山本喜一氏撮影（第1回淡路島景観フォトコンテスト 応募作品）

「遣いだんじり」とは、二人の乗り子を乗せただんじりを縦横無尽にひっくり返しながら練り、様々な妙技を披露するもので、淡路島の個性豊かな伝統芸能を伝える行事として知られています。

草香八幡神社では、毎年10月第1土曜日に宵宮、日曜日に本祭りが行われます。

宵宮では、珍しい遣いだんじりがだされます。「遣いだんじり」では、三人の乗り子がたたく太鼓の合図で、だんじりをぐるぐる回したり、地面すれすれに横倒しにしたり、妙技を練り広げられます。

本祭りでは、各地区から引きだんじりが登場し、威勢のよいかげ声とともに盛大な練りこみが披露されます。

【景観の特徴】

自然がつくりだす景観

歴史がつくりだす景観

✓ 生活・文化がつくりだす景観

新しくつくりだす景観

【アクセス】

神戸淡路鳴門自動車道津名一宮ICから県道88号線を北上、県道31号線を左折し、県道468号線を南下。車で約30分。



地図出典：国土地理院発行2万5千分の1地形図